

Handsome

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 水 康德 編集責任者：桶村清子 34期広報委員会 印刷所：東京印刷株式会社

11月

例会

Make it for children's futures.

『こどもたちの未来のためにできること』

平成20年11月17日ホテルサンルート米子に於いて、環境問題委員会主催のもと11月例会が開催されました。冒頭、水会長より、昨今の信じ難い悲惨な事故を教訓として「われわれ大人の行動・姿をこどもがみているという自覚をもつ必要がある。」と挨拶され、身が引き締まる思いを感じました。続いて新しく入会された米子信用金庫の横山友樹会員にバッジ授与が行われました。「1日でも早く会の一員としてお役に立てるよう積極的に参加したい。」と、中央会への意気込みを話されました。



委員長タイムはビジネス委員会岩垣委員長。会社に必要な3つのSとは、



OS (Owner Satisfaction : 雇用者満足)
ES (Employee Satisfaction : 従業員満足)
CS (Customer Satisfaction : 顧客満足)

である。その中で、ESとCSにスポットをあて、研修などを通して学ばれたご自身の経験をもとに話されました。「ES向上なくしてCS向上はない」と軽視されがちなES=従業員満足の大切さを訴えられ、みなさん「自分の会社はどうだろうか？」と考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

さて、11月例会の内容は『「森が悲鳴をあげている」～こどもたちの未来のためにできること～』と題し、サントリー株式会社 CSR・コミュニケーション本部 環境部長 高屋雅光氏にご講演いただきました。はじめに、食品偽装問題などの社会的背景から、直接利益を生まないCSR「企業の社会的責任」が、各企業で重要視されてきている説明がありました。その中で、サントリーのCSRの取り組みとして、①文化社会貢献活動 ②環境保全活動 この二本柱で活動し、特に環境保全活動に力を入れていると述べられました。その根底には企業理念である“人と自然と響きあう”を最初の到達目標とし、その中心を「水

と生きる」取り組みを実践することで実現していくと述べられました。明確なビジョンによる会社としての拘りがひしひしと伝わり、一経済人として見習うべき経営体系であると感じました。さらに、創業精神でもある「やってみなはれ」「利益三分主義」など、脳裏に残る様々な言葉があり非常に感銘を受けました。

“水とともに生きる”企業としての環境保全活動として ①水のサステナビリティの実現 ②地球温暖化対策として二酸化炭素の削減 ③自然環境の大切さを次世代に伝える という3つの大きな柱で活動されていると述べられました。特に「次世代」への環境教育には力をいれており、次の時代を担うこどもたちに自然環境の大切さを教えていく2つの活動の説明がありました。

「森と水の学校」では、森・水・自然の恵みを味わうという3つのプログラムからなり、参加者は、2004年の開校以来、約7000名となっているようです。「天然水の森 奥大山」においても開校されており、非常に身近に感じられたのではないのでしょうか。

「水育(みずいく)」では、その名の通り“水”をテーマにした学習支援活動で、学校教育の現場で出張授業をされており、利き水など様々な楽しいカリキュラム

を用意し活動していると述べられました。その他にもホームページ「こども水育わくわく大百科」など水の大切さを伝えていく活動を継続して行われており、次世代に伝える興味深い活動でした。



最後に、その他の環境活動として、ペットボトルの軽量化など様々な活動の紹介があり、11月例会は閉会しました。

私にとって今回の例会は、一人の経済人として、また一人の親として、非常に考えさせられる例会でした。水会長の挨拶にもありましたが、われわれ大人の行動が次世代のこどもを育てていくことを改めて感じ、非常に有意義で実りの多い例会となりました。

(記事：高塚)



第60回 中小企業団体全国大会ツアー

全国大会とは、全国の青年中央会が集結し、日本の経済活性に向けて団結する大会と思って、自分たちが行くところではないと思っている皆さんにお伝えします。それは、まったく違った想像の世界だと思ふ。

仙台と言えば、「牛タン・笹かまぼこ、伊達政宗」など名物は沢山あるが、私たちの目的は全国大会である。そんな事には少し！？しか触れず、時間前にはしっかり集まった。

会の冒頭は、多様な場所で聞き飽きてしまって、聞かないほうが良いと思われるくらいの景気の後退要因である。なので、今さら記述するまでも無いが、それだけ今が大変なのだと感じることで十分だと言いたい。

会の内容については、ここから先を読んでもらえなくなるので冊子を希望者にお貸しするという形で失礼するが、会場には、仙台の食をPRするテナントが盛況であった。試食は沢山したが土産はそこで買っておくべきだったと個人的に反省した。某会員は買った土産を帰りの新幹線で大放り状態でしたけど・・・。

大会終了後、県青中で懇親会を開催、去年から行っているが本当に良い事だとつくづく感じた。他県にいるからこそ共有できる空気感、まさに同郷の戦友。遠慮がなくなるのは不思議な感覚、タイの奥地で日本人に会った様だった。

2日目は、課題研修を終えて自由研究の日。まずは東京の台所・築地にてトロ・ウニ・イクラでランチ、そして国会議事堂へ。テレビで見た人が通る度に大騒ぎの某M委員長、「ミーハーか！」と誰かが言うが、俺はミーハーでは無いと思う。政治関連の情報収集が出来ているからだと思う(笑)。



国会傍聴前、庭園で森元総理に会い、鳥取県の青年経済団体としてご挨拶をした。元総理が握手したときの第一声。「本当に青年か？」そのときの相手は某副会長だった。う～ん、毒舌。

普段経験ができないことが体験できる、いわゆる経済人として収穫があるのが

このツアーである。普段見学禁止の総裁席に座る水会長の笑顔で、全てお分かりいただけると思う。地域や自社をこの時代にリードして行く我々には、自分の常識では前に進めない時、自我にこもるよりも、様々な体験による広い見聞が必要だと強く思います。こうした体験を共有することで、より近年必要とされるコミュニケーションは累積していくのではないのでしょうか。

追伸 鳥取県のアンテナショップよりも炉端かばの方が山陰をしっかりPRしていました。私達にしか出来ない何かを誇りを持って、しっかり取り組みたいと思う旅でした。

(記事:増井幸一監事)



OB訪問

梅林広志OB (21期ご卒会)

Q1. ご入会のきっかけは

生まれも育ちも安来市で、松江の高校、大阪の大学、大阪の会社(YKKでジッパーの輸出を担当していた。)に就職、その後地元の企業を経て平成元年に司法書士事務所を開業したが、知り合いもあまり多くなく、人の輪を広げようと思い、またお客様の勧めもあり、東京印刷の杉原OBの紹介で、希望して入会をさせていただきました。

Q2. 中央会の思い出

入会当時、米子城跡にテーマパークを誘致してはどうかとかの話があり、委員会が終わるといつも飲み会があり、お酒が好きなこともあり、いろんな人の意見や情報が新鮮に響き、わくわく楽しい思いをさせていただきました。卒会する年に阿部会長のもと委員長を拝命したが、委員会のメンバーにも恵まれとても嬉しい一年で、感謝、感謝でした。(最優秀委員会であったような気がします。)もちろんみんなお酒好きで楽しいお酒もたくさん飲みました。ただ、同じ会員と群れることはよしとせず、なるべく多くの人と知り合いになりたいと考えていたので、誘われても委員会編成で特に希望は出さなかったり、また、融通がきかない性格のため、執行部の方々にもいろいろ誤解されたこともあったかなと思っています。??????

Q3. 今一番熱中していること

ゴルフ(子供もゴルフをやっています。)、最近ゴルフダイジェストにも掲載されているプライマリーモーション(ゴム筋肉でバネ動作)の講座を受けに大阪まで行ってきたりしています。最近モチベーションが上がってきているので、近いうちにシングルになれればと思っています。(この歳では確率は低いかも。)

Q4. 現役会員の皆様へ

中央会に対しては悪い印象はほとんどありません。いろいろな人と関係ができたことが、私の財産になっています。勉強も大切とは思いますが、卒会してもいい会であったといえるように、人の輪を大切にしていきたい。ちなみに、我々同期の卒会者は、21世紀の会という会をつくり年に何回かは集まってお酒を飲んだりしています。鳥取県出身者の会もあります。皆様の活躍を祈ります。

蕎麦の刈り取り 農業体験

10月19日(日)米子市上安曇の畑でエリアデザイン委員会主催の蕎麦の刈り取りがあった。蕎麦の栽培は委員会活動の一環として、俵米子ガスにお勤めの大塚氏に指導を受け、8月9日(土)に種『信濃1号』を蒔き、成長を見守り収穫の目を迎えたのである。

蕎麦の刈り取りは子供を含め13人が参加した。「刈ったらそと下に置き、両手でつかめるくらいにまとめて縛って下さい。」と指導を受けながら、手に軍手をはめて鎌を持って、みんな夢中で蕎麦を刈っていった。刈った蕎麦は、吊るす。

蕎麦の刈り取りが終わる頃にはうっすら汗をかくほど天候にも恵まれて、普段する事のない農業体験を楽しんだ。

吊るした蕎麦は、約2週間自然乾燥させること。

刈り取った一部の蕎麦を使い、脱穀も体験する。地面にブルーシートを敷き、棒で叩いたり引っ張ったりして蕎麦の実を落とした。脱穀自体はとても面白く楽しかったが、その後の蕎麦の実とそうでないものの分別は、地味で大変な作業でした。そういう大変な思いはしましたが、とても良い思い出になりました。

(記事:門脇)



ガイナレ鳥取 ホーム最終戦レポート

11月後半の冷たい雨の降りしきる中、ガイナレのホーム最終戦に行ってきました。

体操とも日程が重なっていたので、「これじゃモノ好きしか来ねえだろ」などと思いつつ東山に行ってみると、なんと2700人超の観客が！！自分も含め、まさに「バカばっか (by 南央美)」な状況(笑)「バードだったら千人入らなかったかも・・・」などと思うような天候でありながら、そこはJにも認められた熱い米子人？+αのガイナレサポーター達、試合開始前から、雨に濡れながら、大声援を送っていたのでした。

試合が始まると、鬼門・東山のせいか、スローインを敵選手に投げたり、攻め込むどころか、逆に攻められまくり、「またダメか？」と頭を抱えたいくなるような立ち上がり。ところが、お家芸のミラクルディフェンス(笑)が発動し、なぜか相手チームのシュートが悉く外れ続ける。そうすると、そこはやっぱり勝負事、相手がチャンスをムダにしまくったおかげで、流れは徐々にガイナレへ。そして、アウエーのピッチにてこずる相手DF陣に、良い時のチームの武器である、前線の攻撃的守備が炸裂し、トラップミスを奪った鈴木選手のゴールでついに先制！！その後

も押し気味に前半を終える。後半、前がかりになった相手に対し、またも高い位置でボールを奪うと、DFウラへの縦パス一本、DF 2人との競争を抜け出した小沢選手のゴールで2点目。すると流れは一気にガイナレへと傾き、あせる相手はファウルを連発。吉野選手が混戦の中から得失点差で岡山を上回れる3点目を決めると、スタンドはお祭騒ぎに。仕上げは、ファウルで貰った自陣でのFKで、替わったばかりの山本選手が、一矢報いようとGKまであがりかけていた相手のスキを見逃さずマンガのような70M級のロングシュートでトドメの一撃！！前節も0-3で完敗してたチームが今シーズン1勝もしていない鬼門の東山で、4-0でまさかの完勝。SC鳥取時代から首の皮一枚の状況になると、なぜかミラクル(他力本願含む)が起きるチームの伝統は健在だったのでした(笑)

11月後半の「バードだったら千人入らなかったかも・・・」などと思うような天候でありながら、相手がチャンスをムダにしまくったおかげで、良い時のチームの武器である、前がかりになった相手に対し、得失点差で岡山を上回れるファウルで貰った一矢報いようとGKまであがりかけていた。(記事: 竹谷友成)

中央会の思い出



板垣慶太会員

所属企業から後任の会員も決まり、広報委員会の社会員から“思い出の原稿を早く出せ”と煽られ、卒会が近づいた現実を肌で感じると少しばかり寂しさを感じてきました。

最初の思い出は平成15年に39歳で入会した1年目、境港勝手が浜公園で開催されたOB交流会で新入会員自己紹介も兼ねてウォーターボーイズなるアトラクションを演じたことです。秋深まる寒空の下、10数名の同期会員が海パン姿を披露し入会の洗礼を受けましたが、これをきっかけに同期の結束が妙に強くなったことを思い出します。

次は17年度にビジネス交流委員会の委員長を任されたことです。当初、委員会の運営は手探り状態で段取りも悪く委員会のメンバーには何かとご心配をおかけしたと思います。担当例会は初めての企画となるOB交流例会、開催に向けてOB・役員に協力を仰ぎ、委員会全員で力を合わせ準備を進めました。例会が無事終了したときの達成感と疲労感は今でも感慨深く思い出されます。その後の地元企業経営者と語る企画も順調に消化し、何とか大過なく年度が終わろうとした京都卒会旅行でサプライズ。今思い起こせば何れも忘れられない貴重な体験ばかりです。委員会メンバーから知恵を授かり、多くの人に巡り合い、自分自身の能力を客観的に見つめなおす時間を与えてもらったことは、中央会でしか経験することのできない正に自己研鑽の場でした。先輩方から“一度は委員長を経験しなさい”と言われた意味がようやく解かったような気がした1年間でした。

他にも、30周年記念事業提言部合宿で語り合ったこと、県のキャッチフレーズに応募して採用されたこと、TSCバンドの活動、トライアスロンボランティア等々、振り返ってみれば中央会で多くの経験を積ませて頂いたんだなあと改めて感謝しています。活動期間も残り数ヶ月、あと暫くお世話になりますのでお付き合いのほどよろしくお祈りします。

これが私の 変革 revolutionize

中央会に入会して初の広報委員会で四苦八苦している中、今月の「私の変革」の担当が私だと言われ、すごく悩んだ。色々と思いをめぐらせたが、よく分からない。分からないと言うことは、ダラダラと人生を送っているのか日々の仕事をこなすだけとなり、夢もいつのまにかどこかに

置き忘れてきたのか…。さっぱり分からず途方にくれて、妻に聞いてみた。妻の変革は？。「私の変革」なんだそれ？と言われ、体の体形が変わった事と、淡路島から嫁にきているせいか米子の寒さに慣れなくて、ちょっとひきこもりだと言われ、ため息が出てきた。それは「変革」ではなく「変態」だ。次に長女に聞いてみた。「あなたの変革」って何？と聞いたら、中学に入って友達が増えて遊ぶ範囲が広がったけど頭はバカになっちゃったと言われた。これも、さっぱり役に立たない。結局今の自分を見直してみた。中央会については今年県出向を引き受けてみてすごく変わった。中央会への取り組む姿勢がすごく良くなった。今までなら、すぐ面倒くささが頭の先頭に立って、すぐ休んでいたが役が付いて責任感が芽生えたのか最近はおもしろい。人とのつながりが増えてきて色々な人と出会え、こうならもう少し早く一歩を踏み出せば良かったかなと思っている。これが財産かな、とやっと思える様になってきた。中央会が楽しかった事よりも、前向きに取り組めば充実感や満足感が全然違う事に気が付いた事が喜びであった。

仕事については今、心がけている事が3つある。

- ①お酒は午後11時までしか飲まない。
- ②会社の掃除を率先してやる
- ③太らないように気をつける

①については、飲みすぎると次の日必ず午前中だらだらと机に座っていて何もかも従業員まかせになってしまい、役に立たない。

②については、自分の仕事をきれいに誇りをもちたい。

③仕事が自動車の整備なので車の下にもぐる事がよくあり、昔は飲んで遊んでの生活だったので、車の下にもぐるとお腹がつかえて情けなく思う事が多く、ここ2~3年は体重管理をしっかりして頑張っている。

以上、「私の変革」は、新たな思いでやっとな歩を踏み出した所である。(記事: 竹中)

テーマ

松田委員長

12月忘年例会を大いに語る！



皆さんこんにちは！総務委員長の松田です。今年もいよいよ忘年例会の季節がやって参りました。今年最後の行事ですので、我々総務委員会メンバー全員気合い入れて、日々試行錯誤しながら準備を頑張っている所でございます。

今回の忘年例会は、テーマを「皆で笑えば怖くない！不景気を吹っ飛ばせ！」と決定。

皆さんご承知の通り、本年はサブプライム問題に始まり、燃料代の高騰、リーマンブラザーズの破綻等、そして我が山陰地方においては、企業倒産が過去5年間で最多と言う様に本当に大変な年になりました。

こんな時こそ皆で一丸となり、不景気をふっ飛ばさなくてはなりません。

「終わり良ければ全て良し」ではありませんが、来賓、OB会員並びに現役が集まり楽しく語り合える「場」を提供出来れば！と考えます。

只今、準備真っ最中です。先日OB交流会が終わったばかりで、気合いが抜ける間もなく忘年例会ですので、逆に良かったのでは？と考えます。

確かに慌ただしさを感じますが、私的には気合いが抜けてしまったら、次に気合いが入るまで時間が掛かってしまいます。ですから気合入れっぱなしの方がやり易いと考えます。(皆は分かりませんか？)

今回の忘年例会は、2つのアトラクションを考えております。1つ目は謎の「芸人？マジシャン？」によるアトラクションを開催します。皆さんが謎のアトラクションに引き込まれるのは間違いないでしょう！2つ目は昔の映像を面白おかしく構成し、我が中央会の歴史を皆さんと一緒に振り返りたいと思います。もちろんアトラクションで盛り上げたいと思っておりますが、本当に私が望むのは、メンバー全員で酒を交わし、会話を弾ませ、自然に出る笑顔です。なるべく多く語り合えるよう2次会も含め時間配分したいと思っておりますので是非2次会の方もご参加頂きたいと思っております。

今年最後の行事でありますし、来年に向け全員で楽しく1年を締めくくりたいと考えます。是非1次会、2次会含めましてご参加のほどお願いして終わりにしたいと思います。

(記事:松田幸紀総務委員長)

11月度委員会報告

政治行政委員会

平成20年11月11日(火)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/7名
議題/・前回ワークショップのおさらい
・2月担当例会の件

Neo・ラヴィ委員会

平成20年11月13日(木)於:米子食品会館 出席者/9名
議題/・役員会報告の件
・1月担当例会の件

環境問題委員会

平成20年11月6日(木)於:味空間 こうりん坊 出席者/12名
議題/・11月担当例会の件
・サントリー榎樹山陰支店長をお招きして情報交換

ビジネス委員会

平成20年11月7日(金)於:味空間 こうりん坊 出席者/7名
議題/・役員会報告の件
・2月オープン委員会の件

エリアデザイン委員会

平成20年11月11日(火)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/11名
議題/・かみそマン打合せの件
・蕎麦打合せの件

広報委員会

平成20年11月10日(月)於:米子ニューアーバンホテル 出席者/14名
議題/・委員会メンバー所属企業PR
・12月「紅白対抗歌合戦」打合せの件

総務委員会

平成20年11月5日(水)於:味空間 こうりん坊 出席者/13名
議題/・OB交流会反省の件
・忘年例会打合せの件

新入会員

《コピーをして名簿にお貼りください》

 (広報)	横山 友樹 O型 米子信用金庫 管理企画グループ サブリーダー 金融業 〒683-0802 米子市東福原2-5-1 TEL 33-1241 FAX 33-1401 (KT) 090-9068-9456 (EM) H20.11 (H20年度)入会 (推薦者) 夏野(慎) 板垣(慶)
	S43.8.28生

(コメント) 皆様はじめまして。米子信用金庫に勤務しております横山友樹と申します。先に開催された11月例会で水会長より「バッジ」を授けられ、晴れて中央会の一員となりました。今、あらためて「バッジ」を手にし、その「重み」と「誇り」をヒシヒシと感じております。そして、一日も早く中央会の一員としてお役に立てるよう、積極的に事業活動へ参加していきたいと考えております。

現在、40歳。気力、体力ともに「衰え」の見え始める歳となりましたが、自分ではまだまだ20代のつもりです。卒業までの5年間、全力で駆け抜けたと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。

編集後記

「さて自分はどこからやってきたのだろうか？」と考えたこと皆さんはありませんか？

僕は自分自身のルーツを知った時、なぜか物凄く感動し、ご先祖様を無条件に尊敬しました。白石家の長男として生まれ、特に商売とかやっているわけではありましたが、本家の長男という見えない十字架を背負っていたような感覚がありました。

それが、たしか親戚のお祖母さんの米寿の祝いのために作成された白石家の家系図なるものを、僕が25歳くらいの時に初めて目にしたのです。

そこには、4代前は次男だった事、旧中山町に流れてきた豊臣側の武士の末裔である事、中山町で「さるや」という屋号の旅館をしていた事、など目からウロコの初めて聞く話が満載だったのです。ひーじい様が長男のくせに、寺を継ぐのが嫌で坊さんにならなかった事は昔から知っていたのですが、慶長とかの年号見た日にマジ感動でした。15代くらい前のご先祖様の名前を見て、「この人たちがその時代に生きていてくれたから、今の自分が存在しているんだ」とあらためてストレートに素直に思えました。

それからは長男だから・・・なんてちっぽけな十字架は考えなくなり、この世に生を受けた喜びをこれからも全身全霊で表現していこうと思った次第です。

皆さん自分のルーツ探求の旅してみませんか？
感動間違いなしですよ！

(記事:白石)

12月役員会報告

12月役員会が平成20年12月1日(月)、ホテルサンルート米子にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・12月忘年例会開催の件
- ・11月例会反省の件
- ・その他

※なお、詳細につきましては各委員長までご参照ください。

12月例会案内

と き:平成20年12月15日(月)

と ころ:米子全日空ホテル

内 容:忘年例会「皆で笑えば怖くない！

不景気を吹っ飛ばせ！」

*例会終了後、現役・OB双方を対象にした二次会も開催されます

担 当:総務委員会